

水稻、小麦、大豆、小豆、ばれいしょ、てんさい、そば／スマート農業、単収・品質の向上、傾斜改良
直播栽培と大型農業機械・スマート農機導入による省力的農業の実現
～石川 大輔氏（北海道瀬棚郡今金町）～

経営体の概要

事業実施前：平成27年
基幹作物：水稻、小麦、小豆、大豆、
ばれいしょ、てんさい
経営面積：57.1ha

事業実施後：令和5年
基幹作物：水稻、小麦、大豆、小豆、
ばれいしょ、てんさい、そば
経営面積：67.6ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

- 農地が小区画不整形で排水不良等のほ場条件のため生産性が低く、今後、耕作放棄地が増加するおそれ。
- ほ場が分散しており、非効率な土地利用。



排水不良な水田ほ場

【事業実施後】

- 国営今金北土地改良事業（平成27年～）により農地の大区画化、排水改良が図られ、作業効率が向上し、営農条件が大幅に改善。
- 換地によるほ場の集積が図られ、農業経営の合理化と効率的な土地利用が可能。



大区画化されたほ場

営農改善、経営転換等のポイント

①スマート農機導入と直播栽培の安定生産

水稻は湛水直播栽培を一部導入しているが、農地の大区画化、耕作道路の整備により、機械の作業効率が向上し、適期作業が可能となったため、安定した収量・品質が確保された。更なる作業効率の向上に向けて、水稻の全面積で直播栽培に取り組むとともに、可変施肥やロボットコンバイン、防除用ドローンといったスマート農機を導入する見込み。また、「水稻直播研究会」の前会長として、農業改良普及センターと合同で町内ほ場巡回や生産者会議を行い、地域における直播栽培の推進に貢献している。



自動操舵による代かき

②除礫によるばれいしょの単収・品質の向上

除礫整備により、高品質な農作物生産が可能となり、農作物の歩留まりも高く、ばれいしょの単収や品質が向上している。また、農機具の故障頻度が減少し、機械の更新時期も長期化するなど、生産コストの削減による所得の向上と安定に繋がっている。



大区画ほ場での稲刈

③普通畑の傾斜改良による収量の安定と安心した農作業

普通畑の傾斜改良により、傾斜や起伏が改良された平坦で大区画のほ場が形成され、窪地の排水不良も解消されたため、畑作物の収量が安定するとともに大型農業機械での作業危険性が解消され、安心した農作業が可能となった。



ばれいしょの収穫

事業概要

事業種：国営緊急農地再編整備事業
関係市町：北海道瀬棚郡今金町
受益面積：1,660ha
事業期間：平成27年～令和9年
事業目的：区画整理、用水改良 等
主要工事：区画整理 1,136ha、
農業用排水 864ha

位置図



<問い合わせ先>

北海道開発局
農業水産部農業計画課
計画第1係
電話：011-709-2311
(内線：5522)

(令和6年度調査時点)